

平成29年度 第1回 織田廣喜美術館運営協議会

日 時：平成29年5月17日（水）10：30～

場 所：織田廣喜美術館 市民アトリエ

【委 員】

職 名	氏 名	出欠	職 名	氏 名	出欠	職 名	氏 名	出欠
会 長	緒方 泉		委 員	古賀 修治		委 員	堀 洋子	
副会長	梅野 巖夫		委 員	手島 静恵		委 員	三木 一司	
委 員	木下 勝典		委 員	山下 みなみ				

【執行機関】

嘉麻市教育委員会 教育長 木本 寛昭、生涯学習課 課長 長岡 和広
生涯学習課 課長補佐（館長）上野 智裕、美術館係 主査 有江 俊哉
美術館係（学芸員）三戸 丈治、美術館係（地域活動指導員）藤嶋 芳絵、

1. 教育長あいさつ

2. 議 題

(1) 教育委員会点検評価委員の選出について

点検評価委員 _____ 氏

(2) 平成28年度決算（見込み）及び平成29年度予算について（報告）

(3) 平成29年度事業計画について（報告）

(4) 平成28年度入館者数について（報告）

3. その他

平成29年度 第1回 織田廣喜美術館運営協議会

《 資 料 》

1. 嘉麻市教育委員会点検評価委員の推薦について（依頼）… 1～2
2. 平成28年度決算（見込み）及び平成29年度予算 …… 3
3. 平成29年度事業計画 …… 4～8
4. 平成28年度企画展等実績 …… 9
5. 入館者数・施設利用の推移 …… 10

【配布資料】

- 織田廣喜美術館 春からはじまるオダビの催し暦 平成29年度版

平成29年度嘉麻市教育委員会 生涯学習課事業計画表

【 美術館係 】

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	平成 29 年 度 事 業 計 画							
					Plan ・ Check		Do ・ Action					
					実施目標	前年度の課題	実施時期	具体的な事業内容	課題解決に向けての対策	回数等	予算・経費・補助金等	関連事業（関連機関）連携
9	7 市民文化の創造	(1) 美術に関する創造的活動の推進	④ 美術教育普及事業	美術館ボランティア事業	子どもたちの美術活動の充実と美術館の活動に関わる人材の育成を図る。	・ 講座の日程が土曜日から日曜日に変更になったため、ボランティア活動に十分に参加できない登録者がいた。継続して活動するボランティアに加えて、日曜日に参加できる新たなボランティアの増員が必要である。	4月 ~ 3月	・ 市広報やホームページを通して、ボランティア登録者を募集する。 ・ ボランティア会議及び研修会の実施と情報提供を行う。 ・ 子ども向け講座の学習をサポートする。	・ ボランティアの対象年齢を下げ、近隣の高校や大学へ呼びかけ、学生ボランティアの参加を促す。	随時	—	・ アートキッズ ・ 体験講座 ・ 企画展
10	7 市民文化の創造	(1) 美術に関する創造的活動の推進	④ 美術教育普及事業	アートキッズ	様々な芸術体験を通して面白さや楽しさを感じるにより、豊かな発想力を養い、感じたこと、想像したことをそれぞれの方法で創造し、表現する力を養うことにより、豊かな感性を育む。	・ 受講生が20名から30名に増員したが、回が増すごとに、ふざけ合ったり、兄弟でけんかしたり、集中して制作する子とそうでない子に分かれるようになった。全員に十分な指導が行き渡るよう、定員や対象、抽選方法を見直す必要がある。	5月 ~ 3月	対象：小学生 ・ 夏のコレクション展の企画、展示を行う。 ・ 研修、会議、作品選定、キャプション制作、展示、ワークシート制作 ・ 様々な素材を使った創作活動を行う。	・ 定員を見直し、児童の人数に対し、適切な数のボランティアが配置できるようにする。 ・ ケンカやふざけ合いを始める児童がでないように作業の内容や休憩など時間配分を見直し、十分な創作活動が行えるようにする。	16回	[報償費] 講師謝金 73千円 [需用費] 消耗品費 50千円	・ 美術館ボランティア事業 ・ 企画展
11	7 市民文化の創造	(1) 美術に関する創造的活動の推進	④ 美術教育普及事業	わくわくアトリエクラブ	親子で協力しながら気軽に遊び感覚で芸術制作を体験する。芸術を通して親子の絆を深め、思い出作りの場も提供し、心豊かな感性を育む。	・ 子どもの集中力が最後まで持たず、途中で飽きる子がいたので、休憩時間や遊びの時間を取り入れるなど作業内容を見直す必要がある。 ・ 当日に講師が持ってきた材料の配布準備が不十分だったので、受講生の待ち時間があつた。事前準備、動線の確認作業を入念に行う必要がある。	未定	対象：4歳児～小学生とその保護者 ・ 親子等で共同制作する過程において、対話やふれあいの場となるような内容とし、成果物として残る創作活動とする。 ・ 講座終了後も家庭で楽しめる内容とする。	・ 創作ばかりでなく、講座内で休憩時間、展示室鑑賞、手首の体操やアートゲームの時間を取り入れ、子どもが飽きないように工夫する。 ・ 講師と事前に試作品を制作、材料の配分や動線、会場の配置などを確認し、不備がないようにする。	2日/1回	[報償費] 講師謝金 19千円 [旅費] 普通旅費 2千円 [需用費] 消耗品費 20千円	
12	7 市民文化の創造	(1) 美術に関する創造的活動の推進	④ 美術教育普及事業	体験講座	様々な分野の芸術を体験する機会を提供し、創作活動を行う中で芸術への興味を深め、豊かな感性と表現力を磨き、心豊かな人材を育む。	・ 受講生に美術館企画展や講座の案内をするなど、継続して学び、美術館や創作活動への興味関心を高める活動のサポートが必要である。	9月 ~ 12月	対象：①小学生 ②中学生～一般 ③土曜未来塾 ①近畿大学産業理工学部連携事業 ②幅広い年代が楽しめ、芸術への関心と興味を深める内容とする。 ③土曜未来塾の時間内で短時間の美術講座を行う。	・ 企画展のチラシを講座開講の案内と一しよに郵送し、美術館の情報を提供する。 ・ 文化協会と連携し、サークル活動の案内、新サークルの設立など、創作活動へのサポートを行う。	①2日/1回 ②8回 ③随時	[報償費] 講師謝金 294千円 謝礼 56千円 [旅費] 普通旅費 4千円 [需用費] 消耗品費 50千円	・ 美術館ボランティア事業 ・ 近畿大学産業理工学部 ・ 学校教育課
13	7 市民文化の創造	(1) 美術に関する創造的活動の推進	④ 美術教育普及事業	日本画教室	実技を通して、芸術作品の見方や楽しみ方を学び、心豊かな感性と表現力などを身につけ、日常生活を豊かにする。	・ 事情により講座を欠席した受講生に対し、フォローを個別に行う必要がある。 ・ 日本画の画材を専門に取り扱う画材店が筑豊にはないので、現状は福岡市内の画材店に頼んでいる。遠方のため、材料の発注、納品日に注意する必要がある。	4月 ~ 2月	対象：18歳以上 ・ 初心者でも取り組みやすいような内容から始め、学習の成果発表として、図書館ガラスケース内や文化祭で講師と受講生の作品を展示する。 ・ 琴平美術展覧会で作品を展示	・ 講座の内容を文章化し、郵送するなど欠席した日の講座の内容がわかるようフォローを行う。 ・ 商品を発注する際は、早めに発注、納品をしてもらい、講座の進行に遅れが出ないようにする。	10回)	[報償費] 講師謝金 95千円 [需用費] 消耗品費 20千円	

平成 29 年 度 事 業 計 画												
番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	Plan・Check		Do・Action					
					実施目標	前年度の課題	実施時期	具体的な事業内容	課題解決に向けての対策	回数等	予算・経費・補助金等	関連事業（関連機関）連携
1	7 市民文化の創造	(1) 美術に関する創造的活動の推進	① 文化芸術活動推進事業	文化芸術活動推進事業	市民が美術館を身近なものに感じ、美術館で文化芸術を鑑賞・創作する機会及び展示発表に活用できる場の充実を図る。	・市内小中学校の利用が少ないので、校長会でのPRの時期や回数の再考や現場の先生へのPRが必要である。	4月 ~ 3月	・市文化協会などの関係団体や各地区公民館などと連携し、美術館貸出用展示室での展示活動への協力や支援を行うとともに、市民アトリエでの主体的、自主的な創作活動の支援を行う。 ・保育所や学校等と連携して、子どもたちが感性を磨き、考える力、表現力などを学ぶ機会の充実を図るため、鑑賞などでの活用の支援や出張美術館などを行う。	・例年5月の校長会でPRを行っているが、運営協議会での意見もあり、2月の校長会で翌年度の美術館事業計画について説明を行う。	適宜	—	・市文化協会及び碓井支部 ・市内学校等 ・市内保育所（予定） ・各地区公民館
2	7 市民文化の創造	(1) 美術に関する創造的活動の推進	② 美術館運営管理事業	美術館運営管理事業	市民が創作展示や芸術鑑賞などの文化芸術活動の場として、美術館を快適かつ安心して活用できるよう、施設等の維持管理及び運営を行うとともに、美術館並びに実施事業の周知を図る。	・築20年を経過しているため、経年劣化による建物及び設備の修理等が予想されるため修理の年次計画の作成が必要である。 ・美術館リーフレット、展覧会案内パンフレット及びホームページ等を活用して更に周知を図る必要がある。	4月 ~ 3月	・美術館の維持管理に努めるとともに、利用者が快適に利用できる環境の整備及び展示環境の充実を図る。 ・ホームページやリーフレット等を活用して、情報発信に努める。 ・近隣美術館と情報交換及び連携を図る。 ・筑豊美術館ネットワークで開催する「第3回逸品もちより展（開催館：直方谷尾美術館）」への作品提供を行う。	・経年劣化に伴う施設及び設備の修繕等を年次計画作成し、行う。 ・美術館リーフレット、展覧会案内やホームページ、美術館ホームページ、ソーシャルネットワークサービス等を活用して、美術館並びに実施事業の周知を図り、入館者及び施設利用者の増加に繋げる。	—	[報酬] 138千円 [賃金] 臨時職員 7,239千円 [旅費] 費用弁償 60千円 普通旅費 11千円 [需用費] 消耗品費 783千円 燃料費 3,510千円 印刷製本費 281千円 光熱水費 13,100千円 修繕料 341千円 [役務費] 通信運搬費 282千円 手数料 198千円 [委託料] 5,393千円 [使用料賃借料] 497千円 [工事請負費] 274千円 [備品購入費] 743千円 [負担金] 15千円	・田川市美術館 ・直方谷尾美術館 ・県立美術館
3	7 市民文化の創造	(1) 美術に関する創造的活動の推進	② 美術館運営管理事業	碓井琴平公園管理事業	訪れる人々が、憩いの場として快適かつ安心して活用できるよう、環境美化と維持管理に努める。	・ごみの放置や犬の散歩など公園利用者のマナーについて注意喚起する必要がある。 ・公園の樹木剪定の年次計画作成が必要である。	4月 ~ 3月	・美術館等施設敷地内及び碓井琴平公園内の清掃、除草、草刈及び芝生や樹木等の維持管理を行う。	・環境課と連携して注意喚起を行う。 ・樹木剪定の年次計画の作成を行う。	適宜	[需用費] 光熱水費 30千円 修繕料 50千円 [委託料] 5,564千円	・市環境課

平成 29 年 度 事 業 計 画												
番号	アクションプラン主要 瀬策	アクションプラン 内容	アクション プラン事業 名	個別事業名	Plan ・ Check		Do ・ Action					
					実施目標	前年度の課題	実施時期	具体的な事業内容	課題解決に向けての対策	回数等	予算・経費・ 補助金等	関連事業（関連機関）連携
4	7 市民文化の創造	(1) 美術に関する創造的活動の推進	② 美術館運営管理事業	収蔵作品等の保存及び管理	適切な環境の中で、収蔵作品及び展示作品の保存及び管理を行う。	・空調設備は20年が経過しており、年次計画による継続的なメンテナンスとフロン対策が必要である。	4月 ~ 3月	<ul style="list-style-type: none"> ・空調設備の保守点検並びに収蔵庫及び展示室の温湿度管理を行い、収蔵作品等が適切に保存、展示できる環境の維持に努める。 ・収蔵作品を害虫やカビから保護するため、収蔵庫内の燻蒸を年次計画を作成し行う。 ・収蔵作品を害虫やカビから保護するため、職員研修を行う。 ・収蔵作品の額装及び修復を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・空調設備の故障等により収蔵作品等に影響が生じることがないよう、空調設備保守点検委託業者と協議を行い、経年劣化に伴う部品の交換修繕等を年次計画の作成と併せて行う。 	—	[需用費] 修繕費 4,104千円 [委託料] 1,728千円	—

平成29年度嘉麻市教育委員会 生涯学習課事業計画表

【美術館係】

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	平成 29 年 度 事 業 計 画						
					Plan ・ Check		Do ・ Action				
					実施目標	前年度の課題	実施時期	具体的な事業内容	課題解決に向けての対策	回数等	予算・経費・補助金等
5	7 市民文化の創造	(1) 美術に関する創造的活動の推進	③ 企画展事業	春のコレクション展2017	常設展とは別に、館蔵品を用いた特別展示を行うことで、さまざまなテーマにより多角的に織田廣喜の魅力を紹介する。 ・コレクション展以外の企画展の事務量に対し、コレクションの調査等が不足しており、内容の充実が図れていない。 ・準備不足から広報の内容が定まらず、周知期間不足が否めない。 ・展覧会内容により織田廣喜以外の作品の活用ができなかった。	4/1 ~ 4/16 (3/2~4/16)	・織田廣喜美術館所蔵作品を活用した特別展示を行う。 ・織田廣喜以外の地域の作家を含むコレクションの活用を重視した展覧会内容を企画する。 ・企画展の数を見直す。 ・広報と事務作業の担当者を分けることにより、広報の充実を図る。 ・年間を通じてコレクション展の内容（テーマ）を計画する。	14日 (40日)	—	・ギャラリートーク ・バックヤードツアー	
				春のコレクション展2018	・実施前	3/3 ~ 3/31 (3/3~4/1)	—	25日 (26日)			
6	7 市民文化の創造	(1) 美術に関する創造的活動の推進	③ 企画展事業	アートキッズ企画展（仮称）	アートキッズの児童とつくる児童のための展覧会を夏休み期間に合わせて開催し、織田廣喜美術館の新たな魅力を引き出す。 ・実施なし	7/29 ~ 10/1	・教育普及事業「アートキッズ」の活動として実施する企画展。 ・テーマは「ひと」 受講生がアーティストなどによる講座やワークショップを経て、企画会議や作品選定、キャプション制作やワークシート制作を行なう。 ・体験講座とシンクロさせ、石川えりこ氏による「ひと」を描く講座を開催。	—	56日	[賃金] 臨時職員 182千円 [需用費] 消耗品費 93千円 印刷製本費 153千円 [役務費] 通信運搬費 72千円	・ワークショップ ・アートキッズの作品解説 ・美術館ボランティア事業 ・アートキッズ ・体験講座
7	7 市民文化の創造	(1) 美術に関する創造的活動の推進	③ 企画展事業	第73回県展筑豊展	県展筑豊展を開催することにより、創作意欲を高め、美術活動の充実を目指す。 ・昨年度より来場者が減り、各巡回展の中で最も来場者の少ない会場となった（北九州展は休止）。 ・各企画展を含む全体的な業務量が多く、広報の充実が図れていない。 ・担当者変更の際の引き継ぎの不利により、予定していた講師の参加ができなかった。 ・筑豊地区入選者の減少と高齢化が懸念される。	I期：10/31 ~ 11/ 5 II期：11/ 7 ~ 11/12 III期：11/14 ~ 11/19	・日本画、洋画、書、写真、デザインの5部門の中から、公募の入賞、入選作品と筑豊地区の県美術協会会員の作品を展示する。 【I期】 【II期】 【III期】	・広報と事務作業の担当者を分け、連携・調整を行うことにより広報の充実を図る。 ・実行委員と講師が分かれていた部門に関しては兼任するように変更する。 ・企画展の数を見直す。 ・県展の部門に関する教育普及事業を展開し、各部門の興味関心を高めるとともに、出品者増加を目指す。	18日 I期：6日 II期：6日 III期：6日	[賃金] 臨時職員 82千円 [報償費] 講師謝礼 57千円 謝礼 57千円 報償金 10千円 [旅費] 普通旅費 2千円 [需用費] 消耗品費 102千円 印刷製本費 153千円 [役務費] 通信運搬費 72千円 [委託料] 2,224千円	・合評会 I期：11/ 5 II期：11/12 III期：11/19 ・福岡県美術展覧会実行委員会 ・県展筑豊巡回展実行委員会

平成 29 年 度 事 業 計 画												
番号	アクションプラン主要 施策	アクションプラン 施策内容	アクション プラン事業 名	個別事業名	Plan ・ Check		Do ・ Action					
					実施目標	前年度の課題	実施時期	具体的な事業内容	課題解決に向けての対策	回数等	予算・経費・ 補助金等	関連事業（関連機関）連携
8	7 市民文化の創造	(1) 美術に関する創造的活動の推進	③ 企画展事業	オダビエンナーレ2017	嘉麻市をテーマとしたアートプログラムを実施し、嘉麻市の魅力を美術の視点から発信する。	・実施なし	12/1 ~ 1/28	・広報嘉麻の写真を手掛ける写真家四宮佑次氏が嘉麻市を散策して撮影をし、写真家の目線で切り取った嘉麻市の写真作品を展示し、紹介する。 ・体験講座として四宮氏と市民のフィールドワークや写真講座を実施する。	—	44日	[賃金] 臨時職員 113千円 [旅費] 普通旅費 1千円 [需用費] 消耗品費 143千円 印刷製本費 887千円 [役務費] 通信運搬費 72千円 [委託料] 403千円	・ギャラリートーク ・体験講座

平成29年度嘉麻市教育委員会 生涯学習課事業計画表

【 美術館係 】

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	平成 29 年 度 事 業 計 画							
					Plan ・ Check		Do ・ Action					
					実施目標	前年度の課題	実施時期	具体的な事業内容	課題解決に向けての対策	回数等	予算・経費・補助金等	関連事業（関連機関）連携
9	7 市民文化の創造	(1) 美術に関する創造的活動の推進	④ 美術教育普及事業	美術館ボランティア事業	子どもたちの美術活動の充実と美術館の活動に関わる人材の育成を図る。	・ 講座の日程が土曜日から日曜日に変更になったため、ボランティア活動に十分に参加できない登録者がいた。継続して活動するボランティアに加えて、日曜日に参加できる新たなボランティアの増員が必要である。	4月 ~ 3月	・ 市広報やホームページを通して、ボランティア登録者を募集する。 ・ ボランティア会議及び研修会の実施と情報提供を行う。 ・ 子ども向け講座の学習をサポートする。	・ ボランティアの対象年齢を下げ、近隣の高校や大学へ呼びかけ、学生ボランティアの参加を促す。	随時	—	・ アートキッズ ・ 体験講座 ・ 企画展
10	7 市民文化の創造	(1) 美術に関する創造的活動の推進	④ 美術教育普及事業	アートキッズ	様々な芸術体験を通して面白さや楽しさを感じるにより、豊かな発想力を養い、感じたこと、想像したことをそれぞれの方法で創造し、表現する力を養うことにより、豊かな感性を育む。	・ 受講生が20名から30名に増員したが、回が増すごとに、ふざけ合ったり、兄弟でけんかしたり、集中して制作する子とそうでない子に分かれるようになった。全員に十分な指導が行き渡るよう、定員や対象、抽選方法を見直す必要がある。	5月 ~ 3月	対象：小学生 ・ 夏のコレクション展の企画、展示を行う。 ・ 研修、会議、作品選定、キャプション制作、展示、ワークシート制作 ・ 様々な素材を使った創作活動を行う。	・ 定員を見直し、児童の人数に対し、適切な数のボランティアが配置できるようにする。 ・ ケンカやふざけ合いを始める児童がでないように作業の内容や休憩など時間配分を見直し、十分な創作活動が行えるようにする。	16回	[報償費] 講師謝金 73千円 [需用費] 消耗品費 50千円	・ 美術館ボランティア事業 ・ 企画展
11	7 市民文化の創造	(1) 美術に関する創造的活動の推進	④ 美術教育普及事業	わくわくアトリエクラブ	親子で協力しながら気軽に遊び感覚で芸術制作を体験する。芸術を通して親子の絆を深め、思い出作りの場も提供し、心豊かな感性を育む。	・ 子どもの集中力が最後まで持たず、途中で飽きる子がいたので、休憩時間や遊びの時間を取り入れるなど作業内容を見直す必要がある。 ・ 当日に講師が持ってきた材料の配布準備が不十分だったので、受講生の待ち時間があつた。事前準備、動線の確認作業を入念に行う必要がある。	未定	対象：4歳児～小学生とその保護者 ・ 親子等で共同制作する過程において、対話やふれあいの場となるような内容とし、成果物として残る創作活動とする。 ・ 講座終了後も家庭で楽しめる内容とする。	・ 創作ばかりでなく、講座内で休憩時間、展示室鑑賞、手首の体操やアートゲームの時間を取り入れ、子どもが飽きないように工夫する。 ・ 講師と事前に試作品を制作、材料の配分や動線、会場の配置などを確認し、不備がないようにする。	2日/1回	[報償費] 講師謝金 19千円 [旅費] 普通旅費 2千円 [需用費] 消耗品費 20千円	
12	7 市民文化の創造	(1) 美術に関する創造的活動の推進	④ 美術教育普及事業	体験講座	様々な分野の芸術を体験する機会を提供し、創作活動を行う中で芸術への興味を深め、豊かな感性と表現力を磨き、心豊かな人材を育む。	・ 受講生に美術館企画展や講座の案内をするなど、継続して学び、美術館や創作活動への興味関心を高める活動のサポートが必要である。	9月 ~ 12月	対象：①小学生 ②中学生～一般 ③土曜未来塾 ①近畿大学産業理工学部連携事業 ②幅広い年代が楽しめ、芸術への関心と興味を深める内容とする。 ③土曜未来塾の時間内で短時間の美術講座を行う。	・ 企画展のチラシを講座開講の案内と一しよに郵送し、美術館の情報を提供する。 ・ 文化協会と連携し、サークル活動の案内、新サークルの設立など、創作活動へのサポートを行う。	①2日/1回 ②8回 ③随時	[報償費] 講師謝金 294千円 謝礼 56千円 [旅費] 普通旅費 4千円 [需用費] 消耗品費 50千円	・ 美術館ボランティア事業 ・ 近畿大学産業理工学部 ・ 学校教育課
13	7 市民文化の創造	(1) 美術に関する創造的活動の推進	④ 美術教育普及事業	日本画教室	実技を通して、芸術作品の見方や楽しみ方を学び、心豊かな感性と表現力などを身につけ、日常生活を豊かにする。	・ 事情により講座を欠席した受講生に対し、フォローを個別に行う必要がある。 ・ 日本画の画材を専門に取り扱う画材店が筑豊にはないので、現状は福岡市内の画材店に頼んでいる。遠方のため、材料の発注、納品日に注意する必要がある。	4月 ~ 2月	対象：18歳以上 ・ 初心者でも取り組みやすいような内容から始め、学習の成果発表として、図書館ガラスケース内や文化祭で講師と受講生の作品を展示する。 ・ 琴平美術展覧会で作品を展示	・ 講座の内容を文章化し、郵送するなど欠席した日の講座の内容がわかるようフォローを行う。 ・ 商品を発注する際は、早めに発注、納品をしてもらい、講座の進行に遅れが出ないようにする。	10回)	[報償費] 講師謝金 95千円 [需用費] 消耗品費 20千円	

○ 平成28年度企画展等実績

展覧会名	会期		入館者数							平均 (人/日)	入館者総 数に占め る割合	
	期間	日数	一般	高大生	小中生	団体	※12条 該当者等	貸館	計			
第12回嘉飯山の画家たち展	7/2	7/31	26	179	4	15	0	1,021	0	1,219	47	11%
建築家 徳岡昌克展	8/6	9/4	26	147	8	11	0	189	0	355	14	3%
石川えりこ原画展 あのことろ	9/10	10/10	26	468	5	37	0	762	0	1,272	49	11%
第72回県展筑豊展(洋画)	11/1	11/6	6	39	0	2	0	229	0	270	45	2%
第72回県展筑豊展(日本画・写真・デザイン)	11/8	11/13	6	41	0	3	0	222	0	266	44	2%
第72回県展筑豊展(書)	11/15	11/20	6	35	0	1	0	214	0	250	42	2%
特別企画展計 (a)			96	909	17	69	0	2,637	0	3,632	38	32%
春のコレクション展2016	4/1	4/17	15	23	0	1	0	70	0	94	6	1%
第2回逸品もちより展	12/10	1/29	37	153	3	1	0	382	0	539	15	5%
春のコレクション展2017	3/2	3/31	26	55	3	7	0	133	0	198	8	2%
企画展等計 (b)			78	231	6	9	0	585	0	831	11	8%
特別企画展等合計 (a)+(b)			174	1,140	23	78	0	3,222	0	4,463	26	40%
その他(常設展等)計			121	216	2	6	0	1,163	5,327	6,714	55	60%
美術館入館者合計			295	1,356	25	84	0	4,385	5,327	11,177	38	

※12条該当者は、嘉麻市立織田廣喜美術館条例第12条に該当し入館料を免除した者及び招待者等の無料入館者数です。

※【再掲】その他(常設展等)内訳

展覧会名	会期		入館者数							平均 (人/日)	入館者総 数に占め る割合	
	期間	日数	一般	高大生	小中生	団体	12条 該当者等	貸館	計			
第8回嘉麻市絵画交流展	4/23	5/8	14	55	0	1	0	61	744	861	62	8%
第3回嘉麻市写真交流展	5/14	5/20	6	10	0	0	0	21	286	317	53	3%
第2回嘉麻市書道交流展	5/27	5/29	3	1	0	0	0	0	265	266	89	2%
Atelier Tashiro Exhibition⑭	6/14	6/19	6	16	0	1	0	32	307	356	59	3%
堀部祐と素敵な仲間達(パッチワーク)	10/14	10/16	3	8	1	0	0	60	806	875	292	8%
第11回嘉麻市文化祭 in うすい	10/22	10/23	2	0	0	0	0	552	0	552	276	5%
MOA美術館嘉飯桂児童作品展	10/27	10/30	4	5	0	0	0	93	1,129	1,227	307	11%
第12回筑豊地区中学校総合文化祭美術・文化作品展	11/25	11/27	3	3	0	3	0	11	263	280	93	3%
堺教室書道展	12/3	12/4	2	4	0	0	0	4	359	367	184	3%
福岡県小学校児童画展第11回嘉麻市展	2/4	2/12	8	7	0	0	0	20	606	633	79	6%
第19回琴平美術展覧会	2/18	2/26	8	7	0	0	0	22	562	591	74	5%
小計			59	116	1	5	0	876	5,327	6,325	107	57%
常設展のみ			62	100	1	1	0	287	0	389	6	3%
その他(常設展等)計			121	216	2	6	0	1,163	5,327	6,714	55	60%

※第11回嘉麻市文化祭 in うすいの会期中は美術館が全館入館料無料のため、貸館ではありますが入館者数は12条該当者で計上しています。

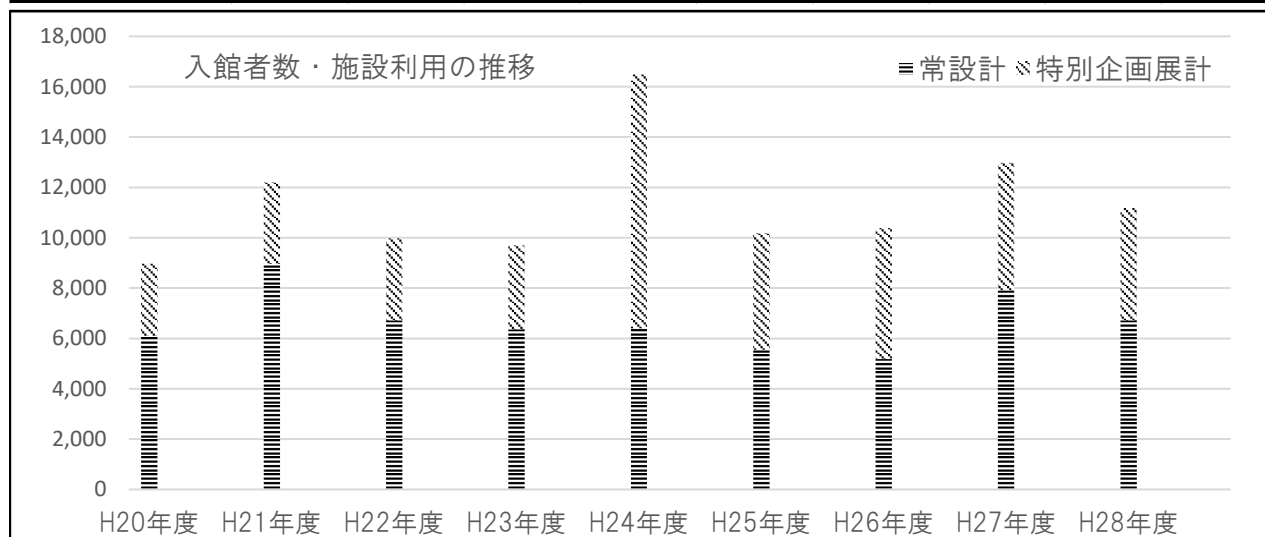
※4月19日(休館日)の取材(2名)の入館は12条該当者(常設展のみ)に含めます。

○ 入館者数・施設利用の推移

1. 入館者状況

(単位:人)

		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
常設展	一般	719	584	541	311	261	324	314	211	216
	高校・大学	6	16	15	4	3	12	6	3	2
	小学・中学	21	32	17	14	10	10	10	9	6
	団体	74	0	46	0	50	0	56	44	0
	12条該当者	5,276	8,320	6,100	6,033	6,083	5,209	4,795	7,652	6,490
	小計	6,096	8,952	6,719	6,362	6,407	5,555	5,181	7,919	6,714
特別企画展	一般	1,372	1,415	1,487	1,277	4,817	1,623	1,608	1,365	1,140
	高校・大学	24	29	44	37	169	52	45	29	23
	小学・中学	177	227	133	90	580	140	110	370	78
	団体	29	0	0	0	33	20	0	40	0
	12条該当者	1,276	1,573	1,588	1,926	4,474	2,783	3,432	3,249	3,222
	小計	2,878	3,244	3,252	3,330	10,073	4,618	5,195	5,053	4,463
合計	8,974	12,196	9,971	9,692	16,480	10,173	10,376	12,972	11,177	



※常設展は、通常入館時及び入館無料時の入館者であり、特別企画展は、特別企画展入館時の入館者数である。

※12条該当者とは、主に嘉麻市織田廣喜美術館条例第12条に該当し、入館料減免を行った入館者等である。

(入館料減免の対象例) ①年齢満65歳以上の者が、その年齢を確認できる照明書等を提示したとき。

②身体障害者手帳の交付を受けている者が、その手帳を提示したとき。

③療育手帳の交付を受けている者が、その手帳を提示したとき。

④土曜日における小学生・中学生・高校生の入館。

※常設展の12条該当者には、貸館入館者数を含む。

2. 施設使用状況

(単位:時間)

	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
展示室5	294	685	490.5	536.5	489.5	456.5	295	244.0	244.0
アトリエ	211	242	237	307	332	291	228.5	223	223.0
計	505	927	727.5	843.5	821.5	747.5	523.5	467	467.0

※貸室、研修等で利用された時間数である。織田廣喜美術館の主催・共催事業は含まれていません。